



歯内療法 診療ガイドライン

最新刊登場!

一般社団法人 日本歯内療法学会 編

治療の意思決定を支援する一冊! 発売中!

初回根管治療において「1回法は複数回法よりも有効か?」「処置後の鎮痛薬処方を行うべきか?」「処置後の抗菌薬処方を行うべきか?」の3つのクリニカルクエストをテーマに、国際標準のGRADEシステムに則り作成。医療行為には可能な限りエビデンスの確実性を示し、推奨と推奨の強さにはGRADEシステムにより患者の価値観と希望を反映するようにした。患者のQOLの向上に寄与した治療の意思決定を支援する一冊。

CONTENTS

第1部

歯内療法の診療ガイドラインについて

1. はじめに
2. 作成の目的
3. 作成目標
4. 基本姿勢
5. 作成の経緯
6. 対象
7. 利用者
8. 作成者
9. 作成者の利益相反(COI)
10. 資金提供者・スポンサー
11. 公開の取り組み
12. 更新の計画

第2部 GRADEに基づく作成

1. アウトカム全般に関するエビデンスの確実性を決定する
2. パネル会議の編成
3. パネル会議: 推奨の方向と強さを決定する
4. 患者の希望
5. クリニカルクエスト(CQ)の設定
6. 外部評価
7. 外部評価者
8. 外部評価(AGREE IIIによる評価)の結果の概要

第3部

歯内療法の診療ガイドラインCQ1

1. 対象とする患歯
2. CQ1の背景
3. アウトカム(評価項目、指標)の設定
4. エビデンスの確実性
5. 文献の抽出

第4部 CQ1: 初回根管治療における1回法は複数回法よりも有効か?

1. アウトカムごとのエビデンスの確実性
2. パネル会議: 推奨の方向と強さを決定
3. エビデンスとして採用した論文の構造化抄録

第5部 歯内療法の診療ガイドライン CQ2&CQ3

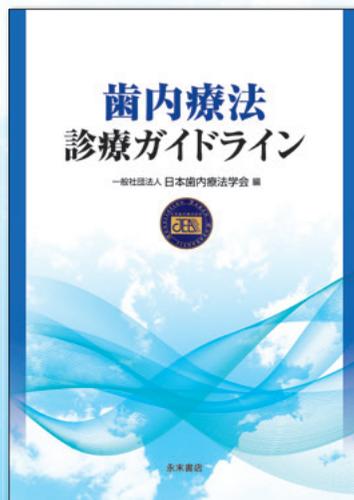
1. 対象とする症例
2. CQの背景
3. アウトカム(評価項目、指標)の設定
4. エビデンスの確実性
5. 文献の抽出

第6部 CQ2: 初回根管治療(生活歯と失活歯)における処置後の鎮痛薬処方を行うべきか?

1. アウトカムごとのエビデンスの確実性
2. パネル会議: 推奨の方向と強さを決定
3. エビデンスとして採用した論文の構造化抄録

第7部 CQ3: 初回根管治療(失活歯)における処置後の抗菌薬処方を行うべきか?

1. アウトカムごとのエビデンスの確実性
2. パネル会議: 推奨の方向と強さを決定
3. エビデンスとして採用した論文の構造化抄録



定価(本体 **3,000円+税**)

B5判・オールカラー・64ページ
ISBN 978-4-8160-1378-2

永末書店

検索



※詳細はホームページをご覧ください。

ご注文書

クレジットカード・代金引換でのご購入は、オンラインショップをご利用下さい。 <https://nagasueshoten.shop-pro.jp/>

| | | | |
|-----------------------------------|-------|--|---|
| ●ご注文書籍 | | ご注文の際は、別途送料がかかります。また代金引換の場合、代引手数料がかかります。 | |
| 歯内療法診療ガイドライン | | 冊 | 冊 |
| ふりがな | ご住所 〒 | TEL | — |
| お名前 | | | |
| 様 | | | |
| FAX: 075-415-7290 | | ●お取り扱い ご記入いただいた個人情報は、弊社の個人情報保護方針に則り厳重に管理し、第三者への提供や社外への業務委託は行いません。 | |
| TEL: 075-415-7280 | | | |
| E-mail: order@nagasueshoten.co.jp | | | |
| お取次店経由でご注文される際は、こちらをお渡し下さい。 | | | |